

# 第67次 神奈川県教育研究集会

# かながわ教育フェスティバル2017



横浜市西区藤棚町 2-197

神奈川県教職員組合  
発行人 芹沢 秀行  
編集責任 白井 千浪



<http://www.ktu.or.jp>

No.723

2017. 11. 20

かながわ教育  
フェスティバル2017  
【特集】

活躍するかな政連

ちよっと拝見地区教組

## 県教研in湘北

湘北地区を会場として開催した第六七次神奈川県教育研究集会「かながわ教育フェスティバル 二〇一七」は、天候不順にも関わらず、多くの参加者が集まりました。参加者からは全体会・分科会を通して「さまざまな実践を知るとともに、日頃の実践の振り返りができた」「明日からの授業にいかしていききたい」等、多くの感想が寄せられました。

神教組は、教職員や保護者、地域住民等がともに参加し（ひらく）、さまざまな立場から教育について語り合い（つなぐ）、子どもたちの豊かな育ちと学びを支えるために結束できる（むすぶ）教研へと発展することをめざしています。今次教研については、地区教組や運営担当者および参加者等からの意見をふまえた総括を行い、引き続き「参加してよかった」と思える、明日への活力につながる集いをめざします。

### 全体会

一〇月二日、相模原市民会館を会場として、全体会を開催しました。

オープニングイベントでは、相模原市立清新中学校の生徒によるトーン・チャイムと楽器演奏が披露されました。特別支援学級と吹奏楽部の生徒たちが協力して、一生懸命に演奏する姿を通して、「共に学び、共に育つ」姿を会場全体で共有することができました。



記念講演 講師 内田麟太郎さん（絵本作家）



オープニングイベント（相模原市立清新中学校）  
特別支援学級と吹奏楽部によるトーン・チャイムと楽器演奏

また、開催地区を代表し、来賓として神奈川県教育委員 員会遠藤支援部長より挨拶を受けました。



続いて、絵本作家の内田麟太郎さんを講師に迎え、「わたしのうた」と題した記念講演を受けました。

講演では、内田さんが詩を書くことから始めたことや長新太さんとの出会いにより絵本作家を始めたこと等について述べた後、ご自分の絵本をもとに、絵本のテキストを書くときは、自分の考えを押しつけるのではなく、言葉や絵の配置などの構成を考え、絵を生かす言葉を使うことを実践していることを話されました。このように、絵本は「協働する」ということを教えてくれたこと、絵本が完成したときに、自分の思っていたイメージを裏切られることが快感であり、それらが絵本を創る喜びであることについて述べられました。また、子どもが「じゃ



れ」を言えるということは、言葉の貯金ができた証拠であり、言葉と言葉をつなげて新しい意味が創れることが、子どもにとって喜びとなりワクワクするものである。それを大切にしたい、とまとめられました。

### 分科会

分科会は一〇月二日、大和市立光丘中学校を会場に開催しました。約一〇〇〇人の参加者が集い、二〇六本のレポートをもとに二三分科会（四つの分科会で分散会を実施）に分かれ、日頃の実践をもとに報告、意見交換、討論が熱心に行われました。各分科会では、学び合いや伝え合いなどに関するレポートが数多く見られるとともに、子どもが主体的に

学ぶための教材開発やグループ活動を取り入れたとりくみ等が報告されました。また、青年層のレポート報告者や傍聴者も多く、共同研究者やベテラン参加者からアドバイスももらっている場面も見られました。具体的な教材の展示、プレゼンテーションを映写しての発表、ワークショップ、グループ討議を取り入れるなど、運営を工夫する分科会もありました。参加者からは、「いま話題になっている内容の提案があり、とても良い勉強の場となった。共同研究者からいただいたアドバイスを今後の実践に生かしていきたい。」「地域の特性を生かした実践が開けた。知識を増やし、実践を積んでいかなければと刺激を受けた。」「具体的な指導法がわかり、明日からすぐにでも実践したいと思った。県教研という場で話し合うことで、同じような悩みがそれぞれにあり、またさまざまな解決方法があるのだということ

にも気付かされた。」等の感想が寄せられました。次年度の教研へむけ、分科会、地区教研でのさらなる議論が期待されます。来年二月に開催される全国教研では、分科会から推薦されたレポート（神奈川県からは二九本）をもとに討議に参加します。「前進する神奈川の教育」を作成し、全分科会に配布します。分科会で討議された内容や共同研究者からの助言等を記載し、分科会の討議の様子が伝わるようになっています。また、CD-ROMには推薦レポートを収録し、見やすく、使いやすいものをめざしています。今後の教育実践に有効に活用され、分科教研がさらに活性化することを期待しています。



第18分科会 情報化社会と教育・文化活動



第2分科会 外国語教育

### 特別分科会

●ワークショップ  
「明日から使える授業のネタ」  
(中井町立中村小学校・安藤さん)、「書写指導のコツ」  
(藤徹さん)

ワークショップでは、「明日から使える授業のネタ」をテーマに、四つの講座を開催しました。

「理科の学習で使える授業のネタ」(理科ハウス・山浦安曇さん・森裕美子さん)、「クラスの子どもたちをつなげるミニネタ」(三浦市立初声小学校・中村亮太さん)、「授業参観で使える、体ほぐし運動」(藤沢市立村岡小学校・長崎達範



ワークショップ「書写指導のコツ」



ワークショップ「理科の学習で使える授業のネタ」

●シンポジウム  
「特別の教科 道徳」に  
シンポジウムでは、コーディネーターに宮崎大さん(小田原市立富士見小学

「特別な教科 道徳」にシンポジウムでは、コーディネーターに宮崎大さん(小田原市立富士見小学

「特別な教科 道徳」にシンポジウムでは、コーディネーターに宮崎大さん(小田原市立富士見小学

「特別な教科 道徳」にシンポジウムでは、コーディネーターに宮崎大さん(小田原市立富士見小学

「特別な教科 道徳」にシンポジウムでは、コーディネーターに宮崎大さん(小田原市立富士見小学



神奈川県ユニセフ協会「子どもに関する社会貢献や国際貢献活動の紹介」

### 展示ブース

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ



中地区教育文化研究所

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ

「ひらかれた教研」のりくみのひとつとして、今次教研でも「展示ブース」を開催しました。各団体の教育諸活動の紹介から、新たな視点で教育について考える場となっています。今回は、地区教研も加わり、次の八団体の展示が行われ

教職員共済

http://www.kyousaikai.or.jp/

入って安心！  
総合共済のご案内です♪

おすすめのポイントは…

- 業務中に発生した賠償責任を最高3,000万円まで補償(教職員賠償責任補償)
- 日常生活で発生した法律上の賠償責任も最高3,000万円まで補償(個人賠償責任補償)
- 地震が原因の住宅の損害も最高100万円まで補償(東日本大震災でも共済金をお支払いしました)

少しの負担で助け合い  
月掛金900円で12の保障!

1 教職員賠償	2 個人賠償	3 住宅災害等	4 災害見舞
5 火災等	6 死亡	7 後遺障害	8 葬儀
9 入院・休業	10 介護(特約付)	11 遺失補償	12 退職

承11-企-59(1202)

※この共済は、教職員共済の「総合共済」と、損保ジャパン日本興亜の「傷害総合保険」「業務過誤賠償責任保険」を組み合わせたもので、月掛金900円のうち、170円は損保ジャパン日本興亜の保険料です。  
※ご加入にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書(契約概要・注意喚起情報)をご覧ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください

厚生労働省認可  
教職員共済生活協同組合 神奈川県事業所  
〒220-0053 横浜市西区藤棚町2-197 神奈川県教育会館内

TEL 045-242-6660  
FAX 045-242-3881

「神奈川県奨学金貸付事業」への寄付

神奈川県は、家庭の経済状況が厳しい高校生が安心して学校へ通えるよう、奨学金貸付事業を行っています。

神教組はこの趣旨に賛同し、学資を必要とする高校生一人でも多く、奨学金の貸し付けができるようにと、2017年度も200万円の寄付を行いました。この寄付金は、「神奈川県奨学金基金」に積み立てられ、今後の奨学金貸付事業の原資として活用されます。

神教組は引き続き、希望するすべての子どもたちに高校教育を保障するため、さまざまなくみをおすすめていきます。

# 活躍するかな政連

## 組織出身議員の活動報告

横浜市会議員 (港北区)



川口 たまえ

算要望・政策提言」としてまとめ、市長にその具体的なとりくみを求めているところです。

教育施策の充実にむけて

神教組組合員のみなさまの口頃の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、二〇一五年四月の私共の選挙から早や二年の折り返し地点を過ぎました

政治体制など私達をとりまく状況は、一層深刻さを増しています。

こうした課題対応を巡って、横浜市会では現在、二〇一八年度にむけての「予

今年も六月頃から温暖化の影響が、三〇度を超える酷暑の日が続きました

が、その時は、学校にエアコンが入っていて本当に良かったとしみじみ思いました。

今後の、こうした施設面の充実に加え、学校への学校図書館司書や理科支援員・職員室業務アシスタント・特別支援コーディネーターなどいろいろな人的配置についても、必要な学校へはきちんと配置できる予算の確保や、勤務条件整備などについても具体的な提案をしてまいります。

私達のめざす、子どもたち本意の教育推進のため、今後もみなさまとともに頑張ります。



藤沢市会議員



竹村 雅夫

た言葉です。しかし日本では、ヤングケアラーの存在はほとんど認識されていませんでした。

ヤングケアラー調査

私たちが今まで「介護」や「ケア」と言えば、中高年以降の課題と思っていなかったでしょうか。

家族の介護や家事、きょうだいの世話などを担う一八歳以下の子どもを「ヤングケアラー」と言います。

子どもは、今までの「介護」や「ケア」と異なり、中高年以降の課題と思っていなかったでしょうか。

もちろん、その子は必ず「お手伝い」をしている場合も少なくありません。

しかしそのために遅刻をしたり勉強が遅れる、部活に参加できないなどの影響が出たり、年齢に不釣り合いな重い責任を負わされているとしたら、「美談」では済みません。

子どもたちは自ら SOS を出すことができません。

調査の結果、約半数の教員が現在または過去にケアを担う小・中学生が「いた」と回答しました。

まだ前例のないヤングケアラーへの支援ですが、ヘルパーの派遣など、今までの制度の応用で解決できることもあるはずで、今回の調査をふまえ、ぜひ検討をすすめていきたいと思っております。

相模原市会議員 (中央区)



江成 直士

の減少、個別事業の検証、公民館の貸し室有料化条例案など、多方面の課題を取り上げました。

継続・連携を力に

課題解決を

この一年、私なりに一杯の議会活動をすすめ、三月議会では、二〇一七年度予算案に対する会派代表の討論に立ち、六月、十一月の議会では一般質問、九月議会では会派の代表質問を行いました。

九月の代表質問では、二〇一六年度の決算議案を中心に、経常収支比率の100%超や財政調整基金

子どもの貧困対策として、相模原市が来年度からスタートする高校生等むけ奨学金もその一つです。

市民税非課税世帯の該当者を全て対象に、月額約一万円を給付する制度は、貧困家庭の子どもの就学に力強い応援になると思っております。

また、就学援助制度の新入学児童生徒学用品費についても、支給額の倍増と時期の前倒しが実現します。

この一年、私なりに一杯の議会活動をすすめ、三月議会では、二〇一七年度予算案に対する会派代表の討論に立ち、六月、十一月の議会では一般質問、九月議会では会派の代表質問を行いました。

九月の代表質問では、二〇一六年度の決算議案を中心に、経常収支比率の100%超や財政調整基金

厚木市会議員



新井 啓司

るまでに、教育委員会専属の弁護士(いわゆるスクールロイヤー)の配置やスクールアシスタントの派遣などが現実のものとなりました。

次に、夏季休業中におけるお盆時期の学校一斉閉庁について「メリハリある働き方」の一環として提起をいたしました。

その意味では、一〇月に開催された第六七次神奈川県教育研究集会での県内各地域で活躍の教職員のみなさま方との討論は、大変有意義で貴重なひと時となりました。

今後、神教組・各地区教組のみなさまと連携して、頑張ります。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

この一年、私なりに一杯の議会活動をすすめ、三月議会では、二〇一七年度予算案に対する会派代表の討論に立ち、六月、十一月の議会では一般質問、九月議会では会派の代表質問を行いました。

### 原子力空母ロナルド・レーガン横須賀配備抗議！ 母港撤回を求める10・1全国集会

原子力空母ロナルド・レーガンの母港撤回を求める全国集会が、10月1日、横須賀ヴェルニー公園で開催されました。

全国から約1,700人が集まり、神教組も地区教組と連帯して、約220人が参加しました。

横須賀基地に原子力空母ロナルド・レーガンが入港してから2年が経ちました。原子力空母には福島第1原発1号機と同規模の原子炉が搭載され、放射能漏れなどの事故を起こせば首都圏全体に被害がおよぶ危険があります。

北朝鮮を巡る情勢が緊迫する中、ますます基地機能強化や、日米軍事一体化がすすむ懸念があります。「海に浮かぶ原発」が平然と存在する国民軽視の安保体制に対して、反対の声をあげ続けていく必要があります。

神教組は今後も空母母港化に反対し、日教組、平和フォーラム、神奈川平和運動センター、三浦半島地区労と連帯し、とりくみを続けていきます。



### 憲法を考える11.3県民集会 安倍9条改憲NO！全国市民アクション 11.3国会包囲大行動 9.18「さようなら原発さようなら戦争全国集会」

安保法制強行採決から2年が経ちました。私たちは廃止を求めてこれまでも集会に参加してきました。この間、政府はミサイル開発を進める北朝鮮に対する圧力を強め、国民に対して危機を煽ってきました。

「憲法を考える11.3県民集会」では、元内閣官房副長官補の柳澤協二さんから「脅威に対して圧力を加え続けることは、解決につながらない」など課題の本質にせまる話がありました。

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション 11.3」では、神教組からも約30人が参加し、立憲民主党枝野代表をはじめ、憲法擁護を求める多くの声を聞き、約4万人が国会議事堂を囲み、市民と連帯して安倍政権退陣を求める声をあげてきました。

「9.18さようなら原発さようなら戦争全国集会」には、全国から9,500人が参加しました。神教組も地区教組と連帯して約200人が参加しました。福島原発の訴訟原告団や支援団や原水爆禁止協議会、沖縄平和運動センターの代表などから、力強い課題提起がありました。

いま、「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンが危機に瀕しています。今後も、改憲をめぐる動き、安保法制の実効化、沖縄基地問題、原発再稼働の動きなどを注視し、反対の声をあげていくことが重要です。



# ちょっと拝見地区教組

## 三浦半島地区教職員組合

### 「青・組」のとりくみ

三教組では組織拡大、とりわけ青年層の加入促進が重点課題です。二〇一〇年度から全分会に「青年・組織拡大担当」（以下「青・組」担当）を置き、新採用者や未加入者へのはたらきかけを強化してきました。二〇一七年度も「アクション・プロジェクト」として新採用者・未加入者の状況を分会と執行部が共有し、早期加入につなげるとりくみを行っています。また、執行部の既存の活動も見直し、より青年層を意識したとりくみを行っています。

### ○新採用者説明会

四月一四日、新採用者を対象とした説明会を第一回「青・組」担当者会と並行して行いました。同時開催することで、担当者が積極的に声をかけ、多くの新採用者に参加してもらうことができました。説明会では、教職員組合の柱となるとりくみや、青年層でとりくんできた企画を紹介しました。その後、自主編成講座「これから働くあなたに贈る、学校で大切にしたいこと」を開き、講師から「教育」という仕事をするにあたっての心構えや、学校運営組織についての講話を聞きました。その後のグループワークでは、話の聞き方のルールを知り、職場や学級での人間関係づくりのポイントを学びました。説明会の後は「ごえんの会」（懇親会）で、参加者同士の交流を深めました。



### ○運営委員企画

分会の「青・組」担当者の中から運営委員が選出され、「学習会」「懇親会」「スポーツ交流」「フィールドワーク」の四部門に分かれて、執行部とともに三教組全体に関わるイベントを企画・運営しています。新採用者・未加入者に多く参加してもらい、組合の活動に触れ、少しでも加入につながるきっかけとなるよう、とりくんでいます。

### ・懇親会部門

七月七日、「ダーツ体験」を行いました。二二人が参加し、運営委員の楽しい企画をもとに、学校の枠を越えてたくさんの方と交流することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

### ・学習会部門

七月八日、「おさかな料理教室」を行いました。一人が参加し、魚のさばき方や調理法をプロの方に伝授していただきました。刺身やフライなどを調理し、おいしくいただきました。終始なごやかな雰囲気です。「また参加したい」との声が多くありました。



### ・スポーツ交流部門

八月五日、「ソフトバレーボール大会」を行いました。三〇人が参加し、熱い戦いを繰り広げました。各分会に学校自慢や本日の感想を話してもらったり、分会を混ぜたチームで試合をしたりなど、分会同士の交流ができるようにしました。閉会式では、「LGB TQ」など性的マイノリティについての情報を紹介し、夏季休暇中に少しでも学んでもらえたらという話をしました。

### ○地区・ブロックリーダー企画

運営委員ではない「青・組」担当者はブロックリーダーとなり、執行部とともに各地区ブロックごとのイベントを企画し、運営しています。今回は、その一部をご紹介します。

### ・横須賀ブロック

「ソフトバレーボール大会」



### ・逗葉地区「懇親会」

一七人が参加し、なかなか会えない同期や元同僚に再会したり、新しいつながりをつくったりするなど、食事を楽しみながら、大いに盛り上がりました。当日の参加者が新たに三教組に加入し、「青・組」の企画を組織の拡大につなげることができました。

### ・三浦地区「懇親会」

若年層だけでなく、ベテランも含んだ一六人が参加しました。運営委員企画のアイスブレイクでグループを作り、未加入者からよく聞かれる質問にどのように答えるかを考えてもらいました。ベテランの方が新採用者の方に、組合のことや普段の学級経営について話している姿を見ることができました。

## 中地区教職員組合

### 私の「学びたい！」を実現する「実践学習会」

中教組では、教文研事業として、「実践学習会」を企画しています。「実践学習会」は、子どもたちの豊かな学びを共有することをめざし、日々の授業実践に生かすことができるような学習会を実施したいという思いをもって、二〇一一年度より活動してきました。

運営に当たって「研究委員」として組合員の方に関わってもらい、より現場のニーズに合った学習会を企画しています。

### は、左記の通りです。

### 〔第一回〕

「子どもたちに届く話し方」  
講師 高橋 辰也さん  
「洗足学園音楽大学講師、元劇団四季オペラ・ミュージカル俳優」

### 〔番外編〕

部活動応援企画！  
「布製横断幕を作ろう」

### 〔第二回〕

「新学習指導要領と小学校英語」  
講師 狩野 晶子さん  
（上智大学短期大学部 英語科准教授）

### 〔番外編〕

教科書学習会  
「どうする？ 社会科副読本！」  
講師 三光 稷さん  
（東京書籍株式会社 編集局小学社会編集長）



先生方の作業する姿は、真剣そのもの！  
「子どもたちが喜んでくれるかな」と一生懸命作成していました。

時間がたつにつれて、参加者同士の会話が弾み、和気あいあいとした雰囲気になっていきました。横断幕が出来上がると拍手がわきおこり、部室のような一体感に包まれました！

参加者から「部員に見せるのが楽しみです！作りながら他の分会や部活の先生方とお話ができるのも楽しかったです」などの感想をいただき、有意義な時間となりました。



情報交換の場にも！



続いて、第二回実践学習会「新学習指導要領と小学校英語」小・中学校で使えるアクティビティ」には、小・中合わせて五七人と多くの参加があり、来年度から先行実施される小学校英語への関心の高さがうかがえました。前半部分ではグローバル化する社会の中での言語教育の意義、小学校英語と中学校英語の接続のポイントなどの講演を聞いて学習を深めました。

後半は、グループに分かれて数字をテーマにしたアクティビティを実際に体験しました。



参加者からは「思っていたような構えは必要なく、より楽しく触れ合えることが大切なのだと感じられて、自分自身が安心しました。」などの声が寄せられ、明日からの実践への意欲を高めることにつながったと感じます。

### ○「新聞づくりは仲間づくり」

○「国語授業のユニバーサルデザイン」

○「アソビから学ぶ」

○「フィールドワーク編」

「東日本大震災からの復興 ―石巻を訪ねて―」

など、さまざまな企画が目白押しです。

さて、今年度四月に行われた「子どもたちに届く話し方」で記念すべき五〇回目を迎えた実践学習会。中教組は、今後も子どもたちの豊かな学びのため、教育にかかわるすべての人たちのつながりのため、そして「私の学びたい！」を実現するための学習会となるようパワーアップしていきたいと考えています。